

21 登山道の整備

◎ 推進体制・取組みの方向性

※第1回立山黒部世界ブランド化推進会議

- 富山県を中心に、WGを開催。
- 「弥陀ヶ原～大日平の吊橋復元」といった、魅力的で周遊性の高いルート of 構築について検討を進める。
- 山小屋等の意見を聞きながら、案内看板・道標等の再整備と多言語化、登山道のクオリティアップを実施する。

◎ 検討状況

※ 第1回、第2回WGにおいて検討

1 登山道等の整備を、国の補助事業を活用するなどして計画的に実施

- ・登山道の整備（歩くアルペンルート of 整備等）
- ・木道の新設、再整備（植生の踏み荒らしを防止）
- ・案内看板、道標 of 整備（多言語化やデザインの統一）
- ・県民協働ボランティア（木道への滑止め板設置、外来植物除去）



ボランティアによる安全対策

2 「弥陀ヶ原～大日平の吊橋復元」について、当時の情報収集

◎ 木道の新設、再整備の実施状況

中部山岳国立公園（弥陀ヶ原園地）

— H20～H28整備箇所
— H29整備箇所



○歩くアルペンルート of 内、弥陀ヶ原園地 of 木道(L=1,977m)は平成29年度で再整備が完了。今後は、滝見台～美女平間の登山道(約2km)を順次再整備予定。

整備前 of 木道 of 状況(平成27年度)



○植生に配慮し、歩行者がすれ違いやすいように木道を複線化

○県民協働ボランティアにより、木道に滑り止めを設置

木道整備状況(平成29年度施工)



21 歩くアルペンルートのご案内標識整備状況

◎標識整備計画図

- 歩くアルペンルート上の案内板は、今年度から順次再整備を開始。
- 道標は、環境省による中部山岳国立公園登山道標識デザイン統一検討会デザイン基準(案)により作成。



歩くアルペンルート上の案内板
(破損状況)

H29年度歩くアルペンルート案内標識整備
(案内板再整備:3基)



- ・積雪に強い構造に変更
- ・表記内容を多言語化
- ・耐候性が高い表示板



◎デザインの統一

歩くアルペンルート上の道標
(破損、表記文字の薄れ)



- ・表記内容を多言語化
- ・耐候性が高い表示板

H29年度歩くアルペンルート案内標識整備
(道標再整備:7基)

悪天候でも視認しやすい
黄色のアイキャッチ

